闘いなくして安全なし

2019.02.05
No. 200

〔発　行〕動労千葉を支援する会
千葉市中央区要町２－８ＤＣ会館
http://www.geocities.jp/dorosien28/
dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

ライフサイクル制度、業務外注化、ダイ改合理化、基地統廃合、ローカル線切り捨て反対！　定年延長と 65 歳まで働ける職場を！

乗務員削減が真の狙い

3月ダイ改 特急「あずさ」停車駅削減

ＪＲ東日本は３月16日実施予定のダイ改で特急「あずさ」の停車駅削減を発表しました。特急の停車本数が大幅に減少する駅の地元である山梨県や長野県からは、沿線住民や各自治体から激しい怒りの声があがっています。

石和温泉駅には、「中央線ダイヤ改悪絶対反対」ののぼりが林立し、２月１日には諏訪、上伊那、塩尻などの市町村長や議会、商工・観光団体ら約60名がＪＲ東日本本社を訪れ、ダイ改見送りなどを要請しています。

「新着席サービス」で車掌削減狙う

会社は、停車駅削減の理由を「首都圏までの速達性向上」としています。しかし、真の狙いは乗務員削減にあります。

３月ダイ改では、中央線特急への「新着席サービス」導入も行うとされています。これは15年に常磐線へ導入されたものです。常磐線ではその２年後に特急車掌一人乗務が提案されました。

車掌一人乗務では、駅間の運行時間が短い区間での車内検札を行うことができません。停車駅を削減することで、駅間の運行時間を延ばし、「その時間で検札を行え」という形で車掌削減を狙っているのです。

会社はそのために、運転中に後部運転台をあけさせ、これまで安全のために禁止されていた「中間運転台でのドア扱い」も突然「問題ない」といい始めました。人員削減、コスト削減のために、鉄道の安全をないがしろにするなど、絶対に許せません。

地域とともに3月ダイ改に反撃を

次期ダイ改は、乗務員勤務制度改悪を前提に組まれます。水戸支社では、乗務キロを変えずに運転士19名減、初日７時台に出勤して23時まで乗務する泊勤務、拘束10時間を「標準」とするような日勤設定と、凄まじい人員削減と労働強化が行われようとしています。

黙っていれば、会社の得手勝手な攻撃が吹き荒れる職場にされてしまいます。職場からの反撃が必要です。地域の怒りとともに、３月ダイ改合理化・乗務員勤務制度改悪反対の声をあげよう。闘う労働組合を取り戻そう。

ＪＲ東 ３月予定のダイヤ改正

「あずさ」停車減
収まらぬ反発

諏訪・塩尻・木曽地域
一方的な「通告」

信濃毎日新聞
１月17日付

今井市長と会談するため、岡谷市役所を訪れたＪＲ東日本長野支社の運輸部長（中央）ら＝16日午後５時

特急「あずさ」の停車本数

松本 36　駅名　ダイヤ改正後
塩尻 28
上諏訪 34
岡谷 28
茅野 36
下諏訪 4
富士見 4
長野県　山梨県